

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.11.4

No. 55

社会人となるために



3年生が学校へ来るのも実質3ヶ月程度となりました。すでに進路が決まった人も徐々に増えつつあります。後は卒業を待つばかりと気持ちの浮ついてきている人も見られますが、皆さんはこれまでの高校生活の中で、一人の市民として生きて行くための十分な教養や常識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自分の頭で考え、判断できるようになったでしょうか。

多少のことにへこたれず、素直に自分の誤りを認め、さわやかに謝る勇氣を持てるようになったでしょうか。静かに相手の話を聞き、相手が何を言おうとしているかをきちんと受けとめ、相手の立場になって物事を考えることが出来るようになったでしょうか。周囲の人々ときちんと意思の疎通をはかり、周囲の人ときちんと関わる事が出来るようになったでしょうか。

皆さんが社会に出たとき、周囲の人たちから信頼されることは何よりも大切なことです。世の中の常識をわきまえた社会人として、またこれからの社会を支えていく一人として成長していくためにも、もっともっと謙虚に今自分が成すことは何かを見つめて欲しいものです。特に来春就職する人は、いよいよ社会人の仲間入りをしていかなくってはなりません。社会人となるためにこれだけはわきまえて欲しいと思うことを特集として卒業まで続けたいと思います。

難しいこと面倒なことから逃げない！



皆さんは授業でちょっと難しくなったり、レポート等面倒なことがあるとすぐ逃げようとしませんか。その時その場から安易に逃げようとするれば結果がどうなるか自明です。一時の安易さを求めその場から逃げれば、結果は悪くなくても良くなることはありません。『楽あれば苦あり』です。

社会に出ると仕事や、様々な組織の中で様々な難しいことや面倒なことに遭遇することが少なくありません。時にはそこから一時的に逃げることも可能な場合もありますが、いつもそんな逃げ腰でいることは出来ません。幾つもの山に登らねばならないときもあります。楽なことばかりを選んでいけば、幸せかと言えはそうでもありません。あえて山登りや荒海に挑戦する人はなぜでしょうか。あえて困難なことに挑戦し、それをやり遂げるにより生き甲斐ややりがいを感じるからでしょう。楽なことばかりを選んでいけば充実感は得られません。

社会のあらゆる場面で難しいことや面倒なことに真正面から立ち向かい、それを一つ一つ解決している人々がいるからこそ世の中は進歩しているのも確かです。自分の思い通りにいかないことは世の中にいっぱいあります。会社に入っても、難しいこと、面倒なこと、いやなこともたくさんあります。しかし、社会に出ればいつでも、そこから逃げることは出来ません。その現実をわきまえ、少しずつそうしたものから安易に逃げない心構えをつけていって欲しいものです。目の前の課題をやり遂げたとき、充実感ややりがいを感じるものです。

二次募集求人情報

ピーアンドシー上島(辰野町) 男女各1【非公開】、十字屋リース(伊那市) 清掃等の業務